

リフォームする

苺田 日出美

住みながらリフォームをするというのは
こういうことなのだど解っていたのに
解体中の廃墟のような鉄骨とシートに覆われた穴倉の
我が家に潜り込む

シャツターもおろしたまま
カーテンも閉じ窓もすべて開けられない
騒音に耐えられなくて
初日には逃げ出して映画を見た『万引き家族』

三時すぎに終わったので
イオンの『五穀』でサンマの藻塩焼き定食
松茸釜めしを食べる
一人で時間をつぶしている

タクシーで家に帰ると
狭い庭に工事用の簡易トイレがそびえている
迷路のようなシートをくぐって
玄関にたどり着く

暗いリビングの床に座ると
夫が三十九歳 私が四十四歳のときに建てた家には
原発事故で炉の底を破壊して積もっているデブリのように
手が付けられないものがあると気づいてしまう

ひび割れた外壁を塗装して
屋根も断熱材にかえていく
あと一か月もすれば覆いも取れて
明るくなるだろうか

